

チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
		若者と女性が共に活躍できるまちづくり	福岡県 北九州市
アイデア名(注2) (公開)	地域通貨“縁”を使った共助の可視化プロジェクト		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報

チーム名(公開)	北九州“縁”結び隊		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数(公開)	9 名		
代表者情報	塩田 真子		
メンバー情報	氏名(公開)	廣川 祐司、古谷 尚也、森田 織江、長谷川 恵、 中尾 泰士、中村 彰雄、堀江 吏将、山本 貴之	

(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin_padit_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

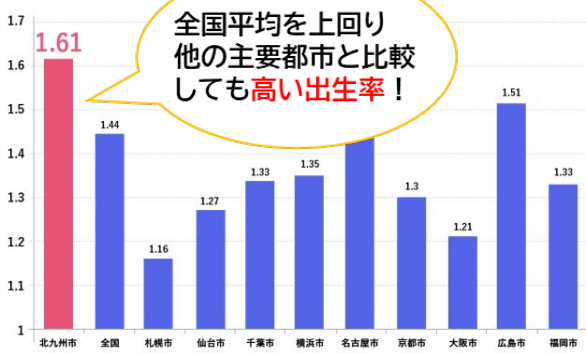
必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

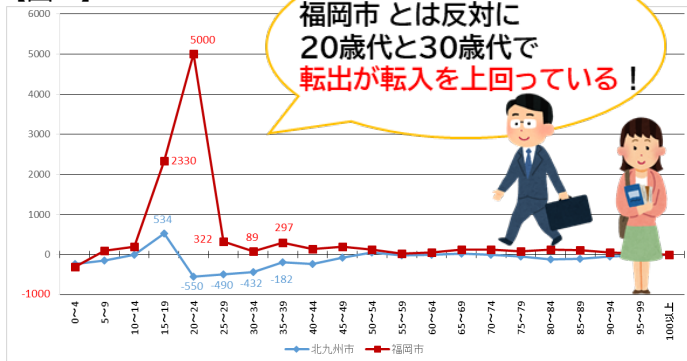
データ活用①「北九州市まち・ひと・しごと創生戦略」を見てみました！

【図1】



主要都市との合計特殊出生率の比較

【図2】



年齢階級別の人口の移動（福岡市との比較）（H25.10～H26.9）

出典：北九州市企画調整局地方創生推進室、北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2次改訂)

⇒北九州市は子育てしやすい環境【図1】のため、若者と女性が活躍しやすい仕組みを整えば、転出者が減少【図2】し、地域社会への定着が望める！

市民同士のたすけあい行動、つながり、ニーズ可視化。若者や女性がすでに行っている活躍の「見える化」をする。

そこで…北九州市内でのみ利用できる**地域通貨アプリ“縁”**を提案！！

名称：縁（えにし）ポイント
由来：地域通貨を利用して人と人との
つながり（縁）を作りたいという願いを込めて

小倉織をモチーフ
としたアイコン！



<フィンテック×シェアリングエコノミー＝Society5.0>

シェアリングエコノミーの関係性は「B to C」ではなく「C to C」の関係性であり、そこで互いに欲しいものを地域通貨をスマートフォンアプリで共有する仕組みをつくることによって共助を生み出す。
「必要なサービスを、いつでも、どこでも、誰にでも。」＝超スマート社会へ

○縁の6つの機能

①位置情報

サービス利用者と
提供者の居場所がわかる



②評価

5段階で相手の
評価ができる



③マッチング

アプリ利用者と
サービスの提供者を
つなげる



④ネットワーク

人と人のつながりを
可視化できる



⑤決済

サービスの提供者
に縁ポイントを渡す
ことができる



⑥プロフィール

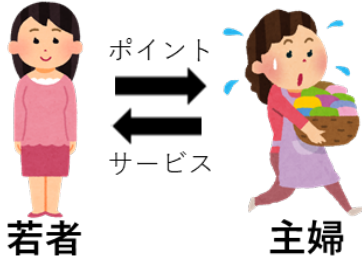
アプリ登録者の情報
をみることができる

＜縁ポイントの使用方法和サービス例＞

ゆずりあいサービス(市民同士)
 不要になった家具・家電製品、本などを
 ポイントを対価としてゆずりあう。

おすそわけサービス(市民同士)
 野菜、魚など生鮮食品を
 ポイントを対価としておすそわけする。

たすけあいサービス(市民同士)
 近距離の送迎、子どものお守り
 買い物の代行などを
 ポイントを対価としてたすけあう。



お得サービス(対行政、地元企業)
 北九州市関連・協賛企業の
 提供するサービスをポイントで対価と
 して利用できる。
 例: 公共交通機関の利用
 「ギラヴァンツ北九州」試合観戦

高齢者 年をとって、自分一人の料理を作るのも大変になった…

ポイント
 ⇄
 サービス

子育て中の主婦 お料理は趣味だから苦にならない。すきま時間を活用できたらいいな！

企業 わざわざ雇うほどでもないけれどちょっとしたときに人手が欲しい…

ポイント
 ⇄
 サービス

学生 授業の空いている時間を有効活用できる！

＜縁ポイントの貯め方＞

- ・お誕生日ポイント：登録した市民に対し、**毎年お誕生日**にポイントプレゼント。(300縁P)
- ・入学ポイント：登録した市民が、**中・高・大学**などに**入学**したらポイントプレゼント。(500縁P)
- ・いらっしやいポイント：**市外から市内**に転入した際にポイントプレゼント。(2,000縁P)
- ・ありがとうポイント：他の市民へ**サービスを提供**する引き換えとして、相応のポイントを受け取る。(50～500縁P)
- ・ボランティアポイント：北九州市が関連したイベントへの参加、ボランティア活動への協力、環境保護活動など、**市が推進する活動への協力行動**に対して、適宜ポイントを付与する。(100～300縁P)

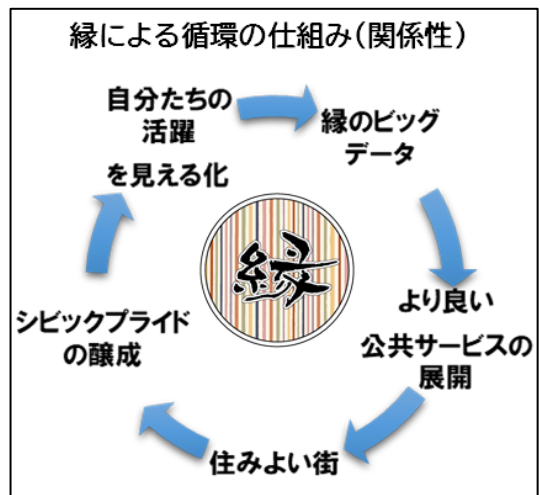
＜ルール＞

- ・有効期限：一部のポイントには有効期限を設けて、**ポイントインフレを抑制**する。また、有効期限以内に使うという行動を促す。
- ・さよならルール：市外への転出で、それまで貯めていたポイントは**全て消滅**する。

＜地域通貨“縁”により見込める効果＞

ビックデータの創出

- 女性・若者の**すきま時間の活用**
 →副業の創出
- ビックデータを利用したニーズ調査
 →**ベンチャービジネス**の展開
- データ収集による
地域課題 (行政ニーズ)の発見



(2) アイデアの理由 (公開)

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

私達が最初に着眼したのは・・・「なぜこのテーマなのか！」という現状分析からはじめました！！

データ活用②【データから見た課題の現状分析】

そもそも若者と女性が「活躍していない」まちという前提からのテーマ設定だが、本当なのか？

〈子育てしやすいまち！〉



安心して産み育てられる環境が整っている！

出典：北九州市企画調整局地方創生推進室、NPO法人エガリテ大手前による「次世代育成環境ランキング(*)」

〈北九州市の暮らしやすさランキング〉

民間賃貸住宅の平均家賃 (平成 2 5 年度)
1 か月 3.3㎡あたり (円)

資料：総務省「平成25年度小売物価統計調査」※相模原市を除く

借家家賃の安さが政令指定都市第 2 位！



県庁所在市 & 政令市で物価の安さが第 1 位！

平均消費者物価地域差指数 (全国平均を100とする)

資料：総務省「平成25年平均消費者物価地域差指数」※相模原市を除く



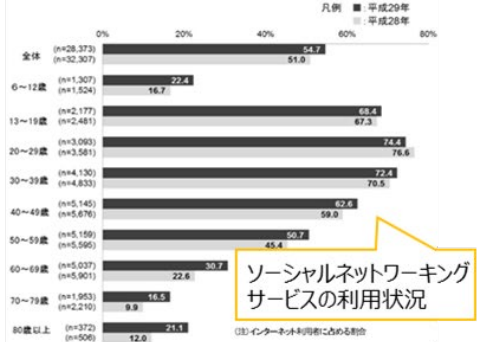
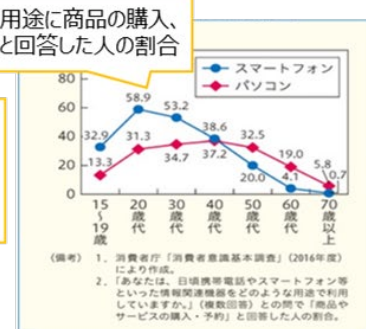
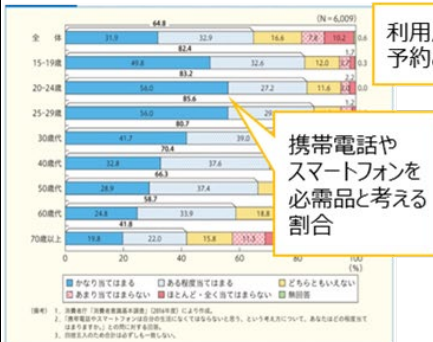
出典：北九州市企画調整局地方創生推進室

→現状：「若者と女性が共に活躍できるまちづくり」としての潜在能力が高い。でも！その生活のしやすさが「可視化」出来ないことが課題！

データ活用③【データを活用した解決策の提案】

「可視化」を実現するために対象となる「若者」と「女性」のニーズや強みとは…

若者 仮説…スマートフォンなどをよく活用しているという実体験から若者は活用能力が高いのではないかな？



出典：平成 29 年消費者白書/第 1 部 第 3 章 第 1 節 (4) 若者の情報の活用や向き合い方、平成 2 9 年通信利用動向調査



◎子育てママさんの声(20代・女性)

子育てアプリを使ってます！でも、もっとタイムリーな情報がほしいな…

若者の ICT 活用が日常生活において広く浸透している！さらに、子育てをしているママさんもタイムリーな情報がほしい！

女性

仮説…女性は傾聴力が高く、人の悩みや苦勞、趣味の話など共感できるスキルが高いのでは？



◎専業主婦さんの声(50代・女性)

教えられるほどじゃないけど、自分の趣味をツールに新しいことに挑戦する、きっかけを作れる事ができるかもしれない！

子育てが一段落していると、自分の趣味や興味に時間があてられるようになる！

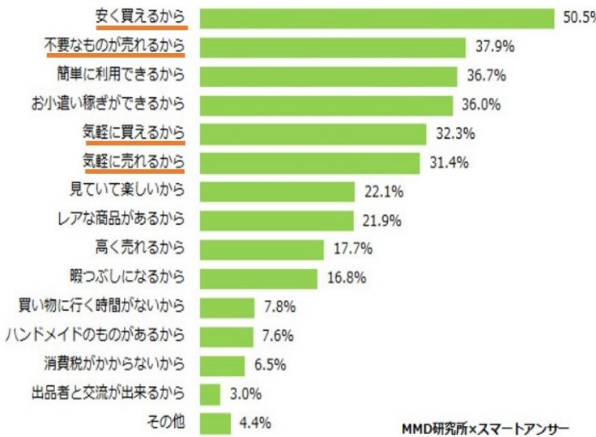


◎兼業主婦さんの声(40代・女性)

難しいことは出来ないかもしれないけど、話し相手にならなれる！

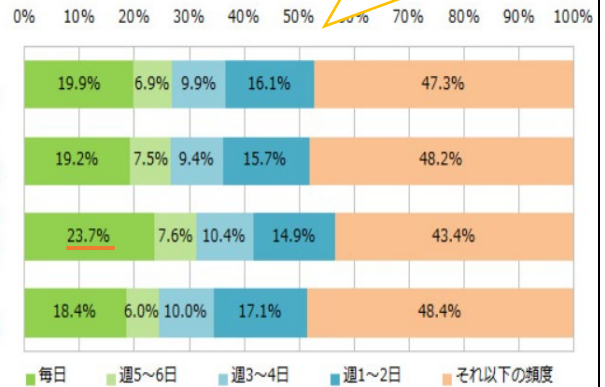
共通するニーズ

● フリマアプリを利用した理由 (n=1,837)



MMD研究所×スマートアンサー

● フリマアプリを開覧している頻度 (N=1,805)



出典：2016年1月フリマアプリに関する利用実態調査(MMD研究所)
2017年フリマアプリに関する利用実態調査(MMD研究所)

専業主婦はフリマアプリを毎日閲覧していると回答しており、閲覧頻度が高い！

利用する理由の3点に注目！

- 安く買える→現金の消費を少なくしたい！→「**地域通貨の利用**」
- 不要なものを売れる→自分の使っていない時間や空間、モノ・スキルを活用したい！→「**シェアリングエコノミー**」が有効！
- 手軽さ→アプリを使用して相手とのやり取りを手軽に！気軽に！→「**フィンテック**」が有効！

⇒ 「地域通貨の利用」「シェアリングエコノミー」「フィンテック」の仕組みを埋め込んだ まちづくりの手法を生み出そう！！

- ◎若者と女性のニーズを満たせば、両者の利用率は上がるのではないかと！
 - 「シェアリングエコノミー」はあくまで「B to B」ではなく「C to C」の関係性！
 - 人（市民）同士で互いにほしいものを共有する経済！
 - 地域通貨（**縁ポイント**）を利用すれば特定の地域内で地域通貨（**縁ポイント**）が循環する！

But!! 無料では「気が引ける」「知人関係でないと頼めない」というデメリットが発生!!
→地域社会全体で知らない人同士でも、気軽に利用できる「**地域通貨+フィンテック**」による仕組みづくり。

データの創造・蓄積④【解決策を通じて蓄積されたデータの運用方法】
仕組みを活用することでニーズは満たされるけれど、他に発生するメリットや効果は？

- ▶ 行政（市）が管理を請け負うことで、わかりにくかった**市民の潜在的なニーズの抽出**が可能に！
→効果的な政策の実施へ!!
- ▶ **ビックデータ**が形成されていくことで、**ニーズ調査コストの削減**に！
→ベンチャービジネスの展開へ!!

市民の潜在的なニーズ

アプリを見れば、困っていることが一目瞭然！

市民のニーズがよく分かる！

ビックデータ

データを見ればビジネスチャンスが分かる！

ベンチャービジネスの展開

(3) アイデア実現までの流れ (公開)

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源 (ヒト、モノ、カネ) の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

実現する主体



市民

「若者・女性が活躍できる！」
サービスの利用・提供
サービスのフィードバック



行政

北九州市情報政策課 山本貴之さん
「行政にもメリットがある！」
アプリの運用・ポイント発行
取引データの管理



研究機関

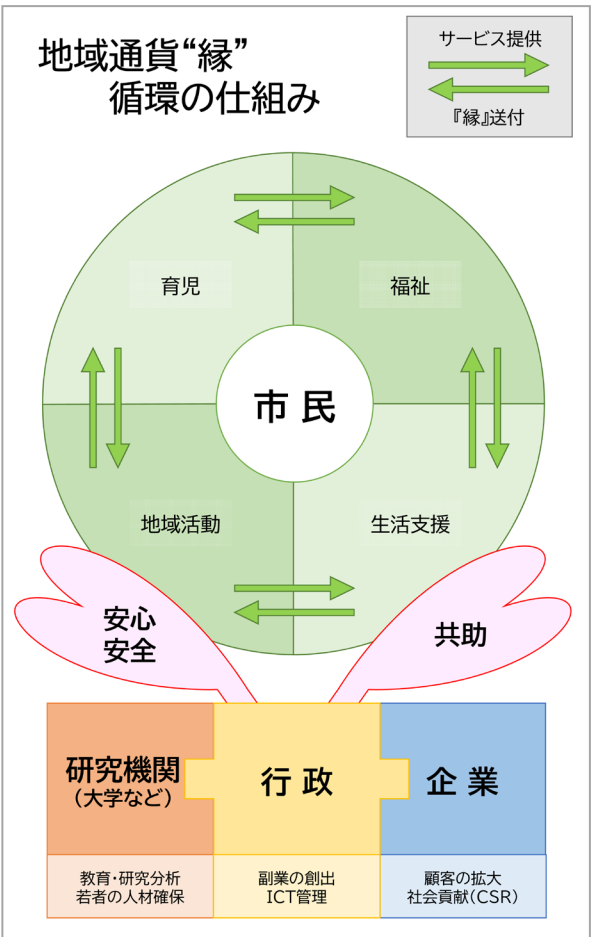
北九州市立大学 中尾泰士 副学長
「学生の教育や研究にも有効！」
アプリケーションの開発



企業

(有)無法松酒造 山家勉社長
「忙しい時だけでも
手伝ってもらえるね！」
サービスの提供

**地域通貨“縁”
循環の仕組み**



実現に必要な資源 (ヒト・モノ・カネ)

○ヒト (将来的にはベンチャー企業主体)

- ・北九州市に居住する市民
- ・北九州市 総務局情報政策部情報政策課
- ・北九州市で事業を展開する企業
- ・北九州市内の研究機関 (大学・高専 etc.)

○モノ

・アプリケーション

- 北九州市立大学 経済学部 経営情報学科/国際環境工学部 情報メディア工学科の研究の一環としてアプリケーションを製作。
- 九州工業大学、北九州高等専門学校との共同開発

・高齢者向け貸出用スマートフォン (30 台)

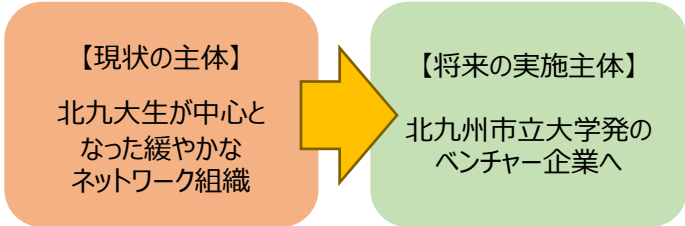
- 高齢者が多い地域の市民センターに設置。市内の型落ちモデルのスマホをリース (提供企業にポイント進呈)。

○カネ

・アプリケーション開発

- 研究の一環として行うこととし、各研究機関の研究費から支出することを検討。

☆ポイントと現金との兌換性は無いため、仕組みを回すための原資は必要ない!



アプリケーション イメージ図

実現にいたるまでのプロセス

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
A 仕組みづくり		A-1 制度の構築		
		A-2 企業への交渉	A-2' 新規参入企業への説明	
		A-3 広報		
			A-4 ポイントの発行・取引データの管理、集計	
				A-5 ベンチャー・ビジネスへの情報提供
B アプリケーション開発		B-1 設計・開発		
		B-2 検証 試行	B-3 アプリケーション リリース	
C サービス開始			O-1 市民・企業によるサービスの利用/提供	
			O-2 利用サービスへの評価	

アイデア実現までのおおまかな流れ

A.仕組みづくり

- A-1) 制度の構築
サービス開始に向けた制度の制定を行う。
- A-2) 企業への交渉
サービスに協力してもらえる企業への説明を行い、参加企業を確保する。
→アプリケーション リリース後も継続的に協力企業へのアプローチを行い、母体を増やす。
- A-3) 広報
サービス開始に向けた市民へのアプローチを行う（Web ページ、市政だより、回覧板など）とともに、IT に縁のない高齢者などに向けた利用講座を開くことで、認知度の向上を図る。
- A-4) ポイントの発行・取引データの管理
市民・企業に向けてポイントを発行や、データの管理を行う。
- A-5) ベンチャービジネスへの情報提供
利用データをもとに必要な事業を模索し、新規事業の創出を行う。

B.アプリケーション開発

- B-1) 設計・開発
市内の研究機関（大学・高専 etc.）が中心となってアプリケーションの開発を行う。
- B-2) 検証・施行
市民だけでなく、北九州市小倉北区の企業（リバーウォーク北九州、魚町商店街、旦過市場など）を対象に検証と試行を繰り返す。
- B-3) アプリケーション リリース
サービス開始とともに、アプリケーションの不具合の修正やアップデートを行っていく。

C.サービス開始

- C-1) 市民・企業によるサービスの利用/提供
- C-2) 利用サービスへの評価